

川越町地域防災計画

[資料編]

平成 31 年 3 月改訂

川越町防災会議

目 次

1. 指定緊急避難場所	1
2. 指定避難所	2
3. 津波避難ビル	3
4. 福祉避難所	3
5. 重要水防区域等（県の管理区間）	4
6. 水防倉庫 水防資材備蓄一覧	6
7. 防潮扉	7
8. 樋門等	8
9. 排水機場等	8
10. 消防団の水防管轄	8
11. 浸水想定区域内における要配慮者利用施設一覧	9
12. 災害用備蓄品保管場所及び防災資機材倉庫一覧	10
13. 災害用備蓄品一覧	11
14. 水道施設一覧	11
15. 災害応援協定一覧	12
16. 災害関係様式	14
(1) 自衛隊災害派遣要請書	14
(2) 自衛隊撤収要請書	15
(3) 海上保安庁応急措置実施要請書	16
(4) 海上保安庁撤収要請書	17
(5) 三重県防災ヘリコプター緊急運航要請書	18
(6) 総務省消防庁 火災・災害等即報要領第4号様式（その1）	19
(7) 総務省消防庁 火災・災害等即報要領第4号様式（その2）	20
17. 被害想定（三重県被害想定調査結果：平成26年3月公表）	22
(1) 建物被害（冬夕発災）	22
(2) 人的被害（冬深夜発災・早期避難率低の場合）	22
(3) ライフライン被害	23
(4) 避難者等	24
(5) 物資不足	24
(6) 災害廃棄物	25
(7) 一般廃棄物	25

1. 指定緊急避難場所

	施設名	所在地	災害の種類		
			風水害	地震	津波
1	当新田地区公民館	朝日町縄生 1142 番地 1	○※ ¹	○	×
2	北福崎地区公民館	北福崎 45 番地 1	○※ ¹	○	×
3	亀須地区公民館	亀須新田 278 番地 5	○※ ¹	○	×
4	亀崎地区公民館	亀崎新田 83 番地 6	○	○	○
5	上吉地区公民館	高松 1301 番地	○※ ¹	○	×
6	南福崎地区公民館	南福崎 405 番地	○※ ¹	○	×
7	豊田一色地区公民館	豊田一色 320 番地	○※ ¹	○	×
8	豊田地区公民館	豊田 927 番地 1	○※ ¹	○	×
9	高松地区公民館	高松 380 番地 1	○※ ¹	○	×
10	天神地区公民館	豊田 373 番地 2	○※ ¹	○	×
11	川越町総合体育館	亀崎新田 77 番地 546	○	○	○
12	川越北小学校	豊田一色 69 番地	○※ ¹	○	○※ ²
13	川越南小学校	高松 258 番地	○※ ¹	○	○※ ²
14	川越中学校	豊田一色 67 番地	○※ ¹	○	○※ ²
15	川越町いきいきセンター	豊田一色 314 番地	○※ ¹	○	○※ ²
16	川越町あいあいセンター	豊田一色 314 番地	○※ ¹	○	○※ ²
17	川越町水防倉庫 (当新田地区)	当新田 816 番地 4	—	—	○※ ²
18	川越町役場	豊田一色 280 番地	—	—	○※ ²
19	三重県北勢沿岸流域下水道 北部浄化センター管理本館	亀崎新田 80 番地 2	○	○	○
20	三重県立川越高等学校	豊田 2303 番地 1	○※ ¹	○	○※ ²
21	霞 4 号幹線検査路	朝明川橋梁	—	—	○
22	豊田水防倉庫	豊田 826 番地 1	—	—	○※ ²

1. 「—」は、災害の性状から指定緊急避難場所に指定しないもの。
2. ※¹は、災害の状況により避難場所が2階以上となるもの。
3. ※²は、津波で浸水する区域に立地しているため、3階以上のRC（鉄筋コンクリート造）又はSRC（鉄骨鉄筋コンクリート造）の構造を有している建物で、避難場所が2階以上となるもの。ただし、川越町水防倉庫の避難場所は、屋上とし、豊田水防倉庫の避難場所は3階及び屋上階とする。
4. 川越町役場など行政の中核施設は、あらかじめ避難者の受入場所を定めておく。

2. 指定避難所

	名 称	所 在 地
1	当新田地区公民館	朝日町縄生 1142 番地 1
2	北福崎地区公民館	北福崎 45 番地 1
3	亀須地区公民館	亀須新田 278 番地 5
4	亀崎地区公民館	亀崎新田 83 番地 6
5	上吉地区公民館	高松 1301 番地
6	南福崎地区公民館	南福崎 405 番地
7	豊田一色地区公民館	豊田一色 320 番地
8	豊田地区公民館	豊田 927 番地 1
9	高松地区公民館	高松 380 番地 1
10	天神地区公民館	豊田 373 番地 2
11	川越町総合体育館	亀崎新田 77 番地 546
12	川越北小学校	豊田一色 69 番地
13	川越南小学校	高松 258 番地
14	川越中学校	豊田一色 67 番地
15	川越町あいあいセンター	豊田一色 314 番地
16	三重県立川越高等学校	豊田 2303 番地 1

※上記の指定避難所は、災害の状況又は建物の被災状況によっては開設しない場合がある。

3. 津波避難ビル

	名 称	所 在 地	階 数	避難場所 (階)
1	ユーズ・アーク	高松 191 番地 1	4	2 階以上
2	モン・クレッシュ	高松 995 番地 1	7	2 階以上
3	チヨダウーテ(株)本社事務所	高松 928 番地	一部 4	2 階以上
4	中部電力(株)川越寮	豊田 837 番地 3	4	2 階以上
5	カインズホームみえ川越インター店	北福崎 175 番地	2	2 階以上
6	第 1 杉ノ木ハイツ	豊田 647 番地 1	4	2 階以上
7	第 2 杉ノ木ハイツ	豊田 768 番地 1	5	2 階以上
8	ライオンズマンション富洲原ニューシテイ	四日市市天カ須賀 5 丁目	9・13・14	4 階以上
9	名鉄四日市タクシー(株)北部営業所 立体駐車場	亀崎新田 18 番地 16	2	屋上
10	川越住宅	豊田 784 番地 1	4	2 階以上
11	四日市市の一時避難場所としての津波避難ビルなどの避難施設 ※津波災害等発生時における避難に関する覚書（平成 24 年 4 月 5 日締結）による。			

4. 福祉避難所

名 称	所 在 地
川越町いきいきセンター	豊田一色 314 番地

5. 重要水防区域等（県の管理区間）

1. 河川

水系名	河川名	担当水防管理団体		重要水防区域指定区間			重要水防箇所					備考
		指定有無	名称	左右の岸	位置	地先名	種別	位置	延長(m)	評定	対策水防工法	
員弁川	員弁川	有	川越町	右	1. 0K+60m から 2. 2K+0m まで	川越町亀須新田 から 川越町亀須新田 まで	堤防高 (流下能力)	1. 0K+60m から 2. 2K+0m まで	1,120	B	積土俵工	河積不足
員弁川	員弁川	有	川越町	右	1. 0K+60m から 2. 2K+0m まで	川越町亀須新田 から 川越町亀須新田 まで	漏水	1. 0K+60m から 2. 2K+0m まで	860	B	月の輪工	
朝明川	朝明川	有	川越町	左	0. 4K+60m から 3. 0K+150m まで	川越町上吉 から 川越町高松 まで	堤防高さ (流下能力)	0. 4K+60m から 3. 0K+150m まで	2,800	B	積土俵工	河積不足
							漏水	1. 0K+130m から 2. 2K+140m まで	1,220	A	月の輪工	H2実績有
							工作物	0. 6K+60m から 0. 6K+60m まで		B	積土俵工	朝明大橋 桁下高不足
							工作物	2. 2K+110m から 2. 2K+110m まで		B	積土俵工	近鉄橋梁 桁下高不足
朝明川	朝明川	有	川越町	右	0. 4K+60m から 2. 8K+210m まで	川越町上吉 から 川越町高松 まで	堤防高 (流下能力)	0. 4K+60m から 2. 8K+210m まで	2,470	B	積土俵工	河積不足
							漏水	1. 1K+110m から 1. 8K+110m まで	780	A	月の輪工	H2実績有

※三重県水防計画から抜粋

2. 海岸

海岸名	建設 港湾 の別	担当水防 管理団体		重要水防区域指定区間			重要水防箇所					備 考
		指定 有無	名称	位 置	地 先 名	延長(m)	種別	位 置	延長 (m)	評定	対策水防 工法	
川越北地 先海岸	建	有	川越町	+0m から +1,030m まで	川越町亀須新田 から 川越町亀須新田 まで	1,030	堤防高 (流下能 力)	+0m から +1,030m まで	1,030	B	積土俵工	高さ不足
川越北地 先海岸	建	有	川越町	+0m から +1,970m まで	川越町亀須新田 から 川越町亀須新田 まで	1,970	工作物	+0m から +510m まで	510	B	積土俵工	高さ不足 堤防老朽化
							工作物	+510m から +990m まで	480	A	積土俵工	高さ不足 堤防老朽化
							工作物	+990m から +1,970m まで	980	B	積土俵工	高さ不足 堤防老朽化
川越北地 先海岸	建	有	川越町	+0m から +1,580m まで	川越町亀須新田 から 川越町亀須新田 まで	1,580	工作物	+0m から +480m まで	480	A	積土俵工	高さ不足 堤防老朽化
							工作物	+480m から +1,580m まで	1,100	B	積土俵工	高さ不足 堤防老朽化
							堤防高 (流下能 力)	+1,270m から +1,580m まで	310	B	積土俵工	高さ不足
高松地区 海岸	建	有	川越町	+0m から +1,240m まで	川越町高松 から 川越町高松 まで	1,240	工作物	+0m から +1,240m まで	1,240	B	積土俵工	高さ不足 堤防老朽化
							堤防高 (流下能 力)	+0m から +1,240m まで	300	B	積土俵工	高さ不足

※三重県水防計画から抜粋

6. 水防倉庫 水防資材備蓄一覧

	河川名	倉庫名	所在地	面積 ㎡	備 蓄 資 材																
					土のう袋	むしろ	なわ	大杭	小杭	鉄線	スコップ	掛矢	のりぎり	斧	つるはし	ペンチ	鎌	たこ	シート	ブルー	一輪車
1	朝明川 右岸	高松 水防倉庫	高松	33	6,500		4	180	150	150	120	40	2			2	10				
2	朝明川 左岸	豊田一色 水防倉庫	豊田一色	39	8,000	10	4	231	180	100	75	66	3			5		8			
3	員弁川 右岸	川越町 水防倉庫	当新田	330	16,200		4	200			45	58		4	2				16	5	2
4	朝明川 右岸	豊田 水防倉庫	豊田	548.9	15,000		4	200	100		50	50		4	2				50	5	1

7. 防潮扉

	管理者	河川名 海岸名	名称	設置場所	操作 責任者	形式	
1	三重県	川越北海岸	川越北 1 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
2			川越北 2 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
3			川越北 3 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
4			川越北 4 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
5			川越北 5 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
6			川越北 6 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
7			川越北 7 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
8			川越北 8 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
9			川越北 9 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
10			川越北 10 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
11			川越北 11 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
12			川越北 12 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
13			川越北 13 号防潮扉	亀尾新田	川越町	手動	
14		川越東海岸	川越東 2 号防潮扉	亀崎新田	川越町	手動	
15		高松海岸	高松防潮扉	高 松	川越町	手動	
19		朝明川	朝明川	朝明川 1 号防潮扉	高 松	川越町	手動
20				朝明川 2 号防潮扉	高 松	川越町	手動
21				朝明川 7 号防潮扉	亀崎新田	川越町	手動
22				朝明川 8 号防潮扉	高 松	川越町	手動
23				朝明川 9 号防潮扉	高 松	川越町	手動
24				朝明川 10 号防潮扉	高 松	川越町	手動
25				朝明川 11 号防潮扉	亀崎新田	川越町	手動
26				朝明川 12 号防潮扉	南福崎	川越町	手動
27				朝明川 13 号防潮扉	南福崎	川越町	手動
28				朝明川 14 号防潮扉	南福崎	川越町	手動
29				員弁川	員弁川	員弁川 1 号防潮扉	亀崎新田
30		員弁川 2 号防潮扉	亀崎新田			川越町	手動

※三重県水防計画から抜粋

8. 樋門等

	管理者	河川名 海岸名	名称等	設置場所	操作 責任者	形式
1	川越町	川越海岸	下新田樋口管	亀崎新田	川越町	手動
2	川越町	川越南海岸	亀崎北樋門（3門）	亀崎新田	川越町	手動
3	川越町	川越漁港	川越漁港樋門	亀崎新田	川越町	手動

9. 排水機場等

	名称	設置場所	名称				操作責任者
			原動機	口径 mm	出力	台数	
1	川越排水機場	亀崎新田	モーター エンジン	1,500 1,500	420kw 600ps	2	上下水道課
			エンジン	2,000	1,200ps		
2	湛水防除排水機場	亀崎新田	エンジン	1,650	460ps	1	
3	里中排水機場	亀崎新田	モーター	800	90kw	1	
			モーター	600	55kw	1	
			モーター	600	37kw	1	

10. 消防団の水防管轄

	分団名	地区名	水防管轄河川等
川越町消防団 定員118人	第1機動隊	—	各分団活動の総括
	第1分団	豊田一色	朝明川左岸
	第2分団	豊田	朝明川右岸
	第3分団	高松	朝明川右岸
	第4分団	南福崎	朝明川左岸、海岸
	第5分団	当新田	員弁川右岸
	第6分団	亀崎	員弁川右岸、海岸
	第7分団	天神	海岸
	第8分団	亀須	員弁川右岸
	第9分団	北福崎	員弁川右岸
	第10分団	上吉	朝明川右岸、海岸

1.1. 浸水想定区域内における要配慮者利用施設一覧

※水防法第15条第1項第3号ロに規定する施設

	区 分	施 設 名	所 在 地
1	高齢・障害者施設	特別養護老人ホーム ほほえみ	亀崎新田 15 番地 2
2		ショートステイ ほほえみ	
3		デイサービス ほほえみ川越	
4		介護老人保健施設 あさけ	豊田 302 番地 1
5		愛の家グループホーム三重川越町	高松 203 番地 2
6		グループホーム つばめ	高松 185 番地 1
7		川越町デイサービスセンター	豊田一色 314 番地
8		デイサービスセンターこぼると	当新田 217 番地 1
9		デイサービスセンターおおぞら	高松 184 番地 1
10		ケアハウス幸寿苑	豊田 504 番地 1
11		生活介護 よつばの里	亀崎新田 21 番地 11
12		共同生活援助 ケアホームさとなか	亀崎新田 23 番地 10
13		ワークセンターよつばの里	亀須新田 406 番地 1
14		川越町くろがね作業所	高松 126 番地
15		共同生活援助 グループホームさとなか2	亀崎新田 23 番地 8
16		デイサービスきらく	豊田一色 218 番地 1
17		放課後等デイサービスAAOかわごえ	当新田 95 番地
18		よつば食堂	亀崎新田 18 番地 7
19		グループホームファミリアの家川越	豊田一色 1236 番地 13
20	児童福祉施設	北部保育所	当新田 763 番地 1
21		中部保育所	豊田一色 158 番地
22		南部保育所	高松 280 番地 1
23		ひばり保育園	豊田 85 番地 1
24		つばめ児童館	豊田一色 235 番地 1
25		おひさま児童館	高松 197 番地 1
26	幼稚園	川越幼稚園	豊田一色 384 番地 1

1.2. 災害用備蓄品保管場所及び防災資機材倉庫一覧

	名 称	所 在 場 所	管理区分
1	川越町役場庁舎災害備蓄倉庫	川越町役場庁舎付属棟	川越町
2	川越町水防倉庫	川越町水防倉庫	川越町
3	豊田水防倉庫	豊田水防倉庫	川越町
4	川越町総合体育館防災資機材倉庫	川越町総合体育館敷地内	川越町
5	川越北小学校防災資機材倉庫	川越北小学校体育館北	川越町
6	川越南小学校防災資機材倉庫	川越南小学校体育館正面	川越町
7	当新田地区防災資機材倉庫	当新田地区公民館敷地内	自治会
8	北福崎地区防災資機材倉庫	北福崎地区公民館敷地内	自治会
9	亀須地区防災資機材倉庫	亀須地区公民館敷地内	自治会
10	亀崎地区防災資機材倉庫	亀崎地区公民館敷地内	自治会
11	上吉地区防災資機材倉庫	上吉地区公民館西	自治会
12	南福崎地区防災資機材倉庫	朝明川左岸堤防	自治会
13	豊田一色地区防災資機材倉庫	豊田一色地区公民館敷地内	自治会
14	豊田地区防災資機材倉庫	豊田地区公民館敷地内	自治会
15	高松地区防災資機材倉庫	高松地区公民館敷地内	自治会
16	天神地区防災資機材倉庫	天神地区公民館敷地内	自治会

上記以外に高松地区及び上吉地区にはコンテナ形式の防災倉庫が設置されている。

1 3. 災害用備蓄品一覧

	備 蓄 品 目														
	アルファ 米 (食)	備蓄パ ン (食)	毛布 (枚)	簡易寝 袋(枚)	非常 用浄 水器 (基)	給水 タン ク (基)	非常用 給水袋 (個)	発電機 (基)	投光 器 (基)	コード リール (個)	間仕切り		トイレ		簡易 テン ト (基)
											一般 用 (セット)	援護者 用 (セット)	簡易 式 (基)	テント 式 (基)	
川越町役場	6,716	4,908	4,930	5,300	2		136	5	4	3	95	20	50	50	3
いきいきセンター	1,000	1,500	500												
豊田水防倉庫								1	1						
川越町水防倉庫			3,440	500		1	5,645	1	1		55		35		
川越北小学校								2	2	2			180		
〃 防災資機材倉庫			30					1	4	2	5		20		
川越南小学校								2	2	2			180		
〃 防災資機材倉庫			20					1	4	2	5		30		
川越中学校								2	2	2			180		
朝明配水場					2		5,001	1							
川越町総合体育館			100												
〃 防災資機材倉庫	1,700		500	300									25		
計	9,416	6,408	9,520	6,100	4	1	10,782	16	20	13	160	20	700	50	3

1 4. 水道施設一覧

区 分	名 称	所 在 地	容 量
配水場	朝明配水場	豊田 2683 番地	2,000t
	埋縄配水場	朝日町大字埋縄 610 番地 38	2,500t
	埋縄第 2 配水場	朝日町大字埋縄 610 番地 38	1,500t
貯水槽	緊急貯水槽	川越北小学校 (豊田一色 69 番地)	60t
	緊急貯水槽	川越南小学校 (高松 380 番地 1)	60t

15. 災害応援協定一覧

協 定 名	協 定 先	締結年月日
三重県市町災害時応援協定	三重県、三重県市町会、三重県町村会	H24. 8. 23
災害時における相互応援等に関する協定	朝日町	H27. 1. 21
災害時における相互応援協定	新潟県聖籠町	H27. 12. 15
三重県内消防相互応援協定	三重県内の市町村、消防組合	H19. 3. 1
三重県防災ヘリコプター支援協定	三重県内の市町村、消防組合	H25. 3. 1
消防相互応援協定	朝日町	S24. 9. 20
三重県内高速道路等における消防相互応援協定	7市10町、3消防組合	H31. 1. 31
津波災害発生時における避難に関する覚書	四日市市	H25. 4. 5
災害発生時における一時避難場所としての使用に関する協定	津波避難ビル 8施設 大規模な地震・津波・風水害 5施設	H23. 8. 5 H23. 10. 6 H23. 10. 20 H23. 12. 14 H23. 12. 20 H24. 1. 12 H24. 10. 23 H25. 1. 25
災害時に備えた相互協力に関する覚書	四日市北警察署	H24. 7. 13
災害発生時における川越町と川越町内郵便局の協力に関する協定	日本郵便株式会社東海支社	H27. 9. 1
地震・津波・風水害等の緊急時における基本協定	町内土木・建設企業 16企業	H21. 2. 16 H21. 10. 1 H23. 12. 14
災害時における救援物資提供に関する協定	日東エースベンディング株式会社	H19. 6. 18
災害時における電気の保安に関する協定	財団法人中部電気保安協会	H23. 7. 21
災害時における医療救護に関する協定	公益社団法人四日市医師会 一般社団法人四日市歯科医師会 一般社団法人四日市薬剤師会	H28. 4. 21
災害時に必要な物資の調達に関する協定	一般社団法人日本非常食推進機	H24. 6. 28
災害時における応急生活物資等の調達に関する協定	マックスバリュ中部株式会社 株式会社カインズ スーパーサンシ株式会社 NPO法人 コメリ災害対策センター	H25. 7. 31 H25. 10. 23 H26. 2. 12 H27. 8. 18
三重県水道災害広域応援協定	三重県内の市町村	H 9. 10. 21
三重県災害等廃棄物処理応援協定	三重県、三重県内の市町村、一部事務組合、広域連合	H16. 10. 29
災害時における棺及び葬祭用品の供給等並びに遺体の搬送等の協力に関する協定	三重県葬祭業協同組合	H24. 3. 6

樋門等の操作業務に係る協定	三重県	H24. 4. 1
災害時におけるLPガス等の調達に関する協定	三重県朝明LPガス協議会	H27. 4. 1
災害時における協力に関する協定	三重県行政書士会	H29. 1. 23
大規模災害時における小型無人機による情報収集に関する協定	三重県ドローン協会	H29. 4. 17
地震災害時の応急対策活動の協力に関する協定	一般社団法人三重県建築士会 三泗支部	H30. 2. 1
全国LNG火力発電所所在市町村連絡協議会災害時相互応援協定	宮城県七ヶ浜町、茨城県神栖市、千葉県袖ヶ浦市、新潟県新潟市、新潟県上越市、千葉県富津市、新潟県聖籠町、愛知県知多市、香川県坂出市、沖縄県中城村	H30. 5. 22
災害時におけるレンタル資機材の提供に関する協定	マツオカ建機株式会社	H30. 11. 19
特設公衆電話の設置及び利用・管理等に関する覚書	西日本電信電話株式会社	H31. 1. 18
災害時における資機材のレンタルに関する協定	株式会社ダイワテック	H31. 3. 5

16. 災害関係様式

(1) 自衛隊災害派遣要請書

年 月 日

知 事 あて

町長 印

自衛隊の災害派遣要請要求について

災害を防除するため、自衛隊法第83条に基づく自衛隊の派遣要請を要求します。

記

- 1 災害の状況及び派遣を要請事由
災害の状況（特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。）
派遣を要請する事由
- 2 派遣を希望する期間
- 3 派遣を希望する区域及び活動内容
 - (1) 派遣を希望する区域
 - (2) 派遣を希望する活動内容
 - (3) 連絡場所及び連絡者
- 4 その他参考となすべき事項

(2) 自衛隊撤収要請書

年 月 日

知 事 あて

町長 印

自衛隊の撤収要請要求について

このことについて、自衛隊法第83条の規定により、災害派遣を受けましたが、所期の目的を終了しましたから、下記のとおり撤収要請を要求します。

記

1 撤収要請日時

年 月 日 時 分

2 派遣要請日時

年 月 日 時 分

3 撤収作業場所

撤収作業内容

(3) 海上保安庁応急措置実施要請書

年 月 日

知 事 あて

町長 印

海上保安庁の応急措置の実施要請要求について

災このことについて、下記のとおり災害対策基本法第70条第3項及び海上保安庁防災業務計画第3章第4節第9関係機関及び地方公共団体の災害応急対策の実施に対する支援に基づき、応急措置の実施要請を要求します。

記

- 1 災害の状況及び応急落ちを要請する事由
災害の状況（特に応急措置を必要とする区域の状況を明らかにする。）
応急措置を要請する事由
- 2 応急措置を希望する期間
- 3 応急措置を希望する区域及び活動内容
 - (1) 応急措置を希望する区域
 - (2) 応急措置を希望する活動内容
 - (3) 連絡場所及び連絡者
- 4 その他参考となすべき事項

(4) 海上保安庁撤収要請書

年 月 日

知 事 あて

町長 印

海上保安庁の応急措置撤収要請要求について

このことについて、災害対策基本法第70条第3項及び海上保安庁防災業務計画第3章第4節第9関係機関及び地方公共団体の災害応急対策の実施に対する支援に基づき、応急措置の実施を受けましたが、所期の目的を終了しましたから、下記のとおり手撤収要請を要求します。

記

1 撤収要請日時

年 月 日 時 分

2 派遣要請日時

年 月 日 時 分

3 撤収作業場所

撤収作業内容

(5) 三重県防災ヘリコプター緊急運航要請書

防災ヘリコプター緊急運航要請書

受信時間	時	分	現在
1 要請機関名	電話 発信者		
2 災害の種別	(1) 救急 (2) 救助 (3) 災害応急 (調査・広報) (4) 火災防御 (5) その他		
3 活動内容	調査、広報、撮影、傷病者搬送、空中消火、救急、救助 輸送 (品名数量)、その他 ()		
4 発生場所及び発生時間	川越町 地内 (発生時間) 年 月 日 午前・午後 時 分 (目 標) (離着陸場所)		
5 現地の気象条件	天候	風向	風速 気温 視程 m 気象予警報 (警報・注意報)
6 現場指揮者	所属・職名・氏名		
7 現場との連絡手段	無線種別 (全国波、県波、市町波) 現場指揮本部 (車) 呼出名 (コールサイン)		

8 要請を必要とする理由	※災害の状況、要請する活動の内容、受入態勢を記述する。 (救助の場合には、事故の原因、事故の状況、人数等も記入する。)
目標	別添地図のとおり ※目標が明確となる大きめの図面を添付のうえ、ゼンリン住宅地図のページを記入

受信者	
-----	--

三重県防災航空隊 電 話 059-235-2555
 緊急要請専用 059-235-2558
 ファックス 059-235-2557

(6) 総務省消防庁 火災・災害等即報要領第4号様式(その1)

(災害現況即報)

消防庁受信者氏名 _____

災害名 _____ (第 _____ 報)

災害の概況	発生場所				発生日時	月	日	時	分	
被害の状況	死傷者	死者	人	不明	人	住家	全壊	棟	一部損壊	棟
		負傷者	人	計	人		半壊	棟	床上浸水	棟
応急対策の状況	災害対策本部等の設置状況	(都道府県)			(市町村)					

(注) 第一報については、原則として、覚知後30分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

(7) 総務省消防庁 火災・災害等即報要領第4号様式(その2)
(被害状況即報)

都道府県				区 分		被 害	
災 害 名 ・ 報告番号	災害名 第 報		そ の 他	田	流失・埋没	ha	
	(月 日 時現在				冠 水	ha	
報告者名					畑	流失・埋没	ha
			冠 水	ha			
区 分		被 害		文教施設		箇所	
区 分		被 害		病 院		箇所	
人的被害	死 者	人		道 路		箇所	
	行方不明者	人		橋りょう		箇所	
	負傷者	重 症	人		河 川	箇所	
		軽 傷	人		港 湾	箇所	
住 家 被 害	全 壊		棟		砂 防	箇所	
			世帯		清掃施設	箇所	
			人		崖くずれ	箇所	
	半 壊		棟		鉄道不通	箇所	
			世帯		被害船舶	隻	
			人		水 道	戸	
	一部破損		棟		電 話	回線	
			世帯		電 気	戸	
			人		ガ ス	戸	
	床上浸水		棟		ブロック塀等	箇所	
			世帯				
			人				
床下浸水		棟		り災世帯数	世帯		
		世帯		り災者数	人		
		人		建 物	件		
非住家	公共建物	棟		危 険 物	件		
	その他	棟		そ の 他	件		
				火災発生			

区 分		被 害	災害対策本部等の設置状況	都道府県				
公立文教施設	千円							
農林水産業施設	千円							
公共土木施設	千円							
その他の公共施設	千円							
小 計	千円							
公共施設被害市町村数	団体							
そ の 他	農 業 被 害	千円	災害救助法 適用市町村名	市 町 村				
	林 業 被 害	千円						
	畜 産 被 害	千円						
	水 産 被 害	千円						
	商 工 被 害	千円						
計	団体							
そ の 他	千円				消防職員出動延人数	人		
被 害 総 額	千円				消防団員出動延人員	人		
備 考	<p>災害発生場所</p> <p>災害発生年月日</p> <p>災害の種類概況</p> <p>応急対策の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防、水防、救急・救助等消防機関の活動状況 ・ 避難の勧告・指示の状況 ・ 避難所の設置状況 ・ 他の地方公共団体への応援要請、応援活動の状況 ・ 自衛隊の派遣要請、出動状況 ・ 災害ボランティアの活動状況 							

※被害額は省略することができるものとする。

1.7. 被害想定（三重県被害想定調査結果：平成26年3月公表）

※被害想定調査により予測される数値は、端数処理のため、合計が数値に和に一致しない場合がある。

※表内の「－」は、数量が5未満、又は割合が1%未満であることを示す。

(1) 建物被害（冬夕発災）

区分		想定地震	南海トラフ地震 【過去最大クラス】	南海トラフ地震 【理論上最大クラス】	養老－桑名－四日市断層	布引山地東縁断層帯 【東部】	頓宮断層
		最大震度	6弱	7	7	6強	6弱
建物被害	揺れ（全壊棟数）	約80棟	約800棟	約2,000棟	約300棟	－	
	液状化（全壊棟数）	約200棟	約200棟	約200棟	約200棟	約200棟	
	津波（全壊棟数）	約900棟	約1,200棟	－	－	－	
	火災（焼失棟数）	－	約90棟	約200棟	約50棟	－	
	合計※	約1,200棟	約2,300棟	約2,400棟	約600棟	約200棟	

(2) 人的被害（冬深夜発災・早期避難率低の場合）

区分		想定地震	南海トラフ地震 【過去最大クラス】	南海トラフ地震 【理論上最大クラス】	養老－桑名－四日市断層	布引山地東縁断層帯 【東部】	頓宮断層
		最大震度	6弱	7	7	6強	6弱
死者数	建物倒壊	－	約40人	約100人	約20人	－	
	屋内移動・転倒物	－	－	約10人	－	－	
	津波	約90人	約300人	－	－	－	
	火災	－	－	約10人	－	－	
	屋外転倒・落花物	－	－	－	－	－	
	合計※	約100人	約400人	約100人	約20人	－	
重傷者数	建物倒壊	約10人	約80人	約200人	約30人	－	
	屋内移動・転倒物	－	約10人	約30人	約10人	－	
	津波	－	－	－	－	－	
	火災	－	－	－	－	－	
	屋外転倒・落花物	－	－	－	－	－	
	合計※	約10人	約80人	約200人	約30人	－	
軽傷者数	建物倒壊	約80人	約200人	約300人	約200人	約10人	
	屋内移動・転倒物	約10人	約50人	約100人	約20人	－	
	津波	－	－	－	－	－	
	火災	－	－	－	－	－	
	屋外転倒・落花物	－	－	－	－	－	
	合計※	約90人	約200人	約300人	約200人	約10人	

(3) ライフライン被害

区 分		想定地震	南海トラフ地震 【過去最大クラス】	南海トラフ地震 【理論上最大クラス】		
		最大震度	6弱	7		
ライフライン被害	給水人口		約 14,000	約 14,000		
	上水道	断水率	直 後	100%	100%	
			1 日後	99%	99%	
			1 週間後	99%	99%	
			1 か月後	87%	94%	
		断水人口	直 後	約 14,000 人	約 14,000 人	
			1 日後	約 14,000 人	約 14,000 人	
			1 週間後	約 14,000 人	約 14,000 人	
			1 か月後	約 13,000 人	約 13,000 人	
	下水道	処理人口		約 14,000 人	約 14,000 人	
		機能支障率	直後	4%	11%	
			1 日後	84%	87%	
			1 週間後	3%	10%	
			1 か月後	0%	1%	
		機能支障人口	直後	約 600 人	約 1,500 人	
			1 日後	約 12,000 人	約 12,000 人	
			1 週間後	約 400 人	約 1,300 人	
			1 か月後	—	約 200 人	
		電力	需要家数		約 8,700 件	約 8,700 件
			停電率	直 後	91%	91%
				1 日後	84%	85%
	1 週間後			17%	26%	
	件数 停電		直後	約 7,900 件	約 8,000 件	
			1 日後	約 7,300 件	約 7,400 件	
			1 週間後	約 1,400 件	約 2,200 件	
	固定電話		回 線 数		約 1,900 件	約 1,900 件
		不通回線率	直 後	92%	94%	
			1 日後	86%	89%	
1 週間後			31%	45%		
1 か月後			31%	42%		
不通回線数		直 後	約 1,700 件	約 1,700 件		
		1 日後	約 1,600 件	約 1,600 件		
		1 週間後	約 600 件	約 800 件		
		1 か月後	約 600 件	約 800 件		
電話 携帯		地局 停波 率基	直 後	17%	27%	
	1 日後		86%	89%		
	1 週間後		31%	45%		

ガス	需要家数		約 400 件	約 400 件
	供給停止率	直 後	—	58%
		1 日後	—	58%
		1 週間後	—	50%
		1 か月後	—	—
	復旧対象戸数	直 後	—	約 200 件
		1 日後	—	約 200 件
		1 週間後	—	約 200 件
		1 か月後	—	—

(4) 避難者等

区 分		想定地震	南海トラフ地震 【過去最大クラス】	南海トラフ地震 【理論上最大クラス】
		最大震度	6 弱	7
避難者等	1 日後	避難者数	約 12,000 人	約 13,000 人
		避難所	約 8,000 人	約 8,500 人
		避難所外	約 4,100 人	約 4,300 人
	1 週間後	避難者数	約 6,400 人	約 8,200 人
		避難所	約 5,200 人	約 6,900 人
		避難所外	約 1,700 人	約 1,300 人
	1 か月後	避難者数	約 12,000 人	約 13,000 人
		避難所	約 3,600 人	約 3,800 人
		避難所外	約 8,300 人	約 9,000 人
帰宅困難者数		約 3,000 人		

(5) 物資不足

※自町のみで対応した場合

区 分		想定地震	南海トラフ地震 【過去最大クラス】	南海トラフ地震 【理論上最大クラス】
		最大震度	6 弱	7
物資不足	給水 不足量	1～3日目の計	0 t	0 t
		4～7日目の計	1,021 t	1,027 t
	食料 不足量	1～3日目の計	46,286 食	52,664 食
		4～7日目の計	93,605 食	109,992 食
	毛布 不足数	1～3日目の計	10,422 枚	11,542 枚

(6) 災害廃棄物

区 分		想定地震	南海トラフ地震 【過去最大クラス】	南海トラフ地震 【理論上最大クラス】
		最大震度	6弱	7
瓦 礫	災害廃棄物 等発生量	災害廃棄物	約 10 万 t	約 30 万 t
		津波堆積物	約 10～約 30 万 t	約 10～約 30 万 t
		合計※	約 30～約 40 万 t	約 40～約 60 万 t
	災害廃棄物 等発生量	災害廃棄物	約 10 万 m ³	約 20 万 m ³
		津波堆積物	約 10～約 20 万 m ³	約 10～約 20 万 m ³
		合計※	約 20～約 30 万 m ³	約 40～約 40 万 m ³

(7) 一般廃棄物

区 分			想定	地震後 1 年間に想定される一般廃棄物量
生活ごみ	発災～3か月後	家庭ごみ		約 200 t / 月
		粗大ごみ		約 200 t / 月
	3か月後～半年	家庭ごみ		約 200 t / 月
		粗大ごみ		約 70 t / 月
	半年～1年後	家庭ごみ		約 200 t / 月
		粗大ごみ		約 60 t / 月
	発災 1 年間計	家庭ごみ		約 2,400 t / 月
		粗大ごみ		約 1,000 t / 月
		合計※		約 3,500 t / 月